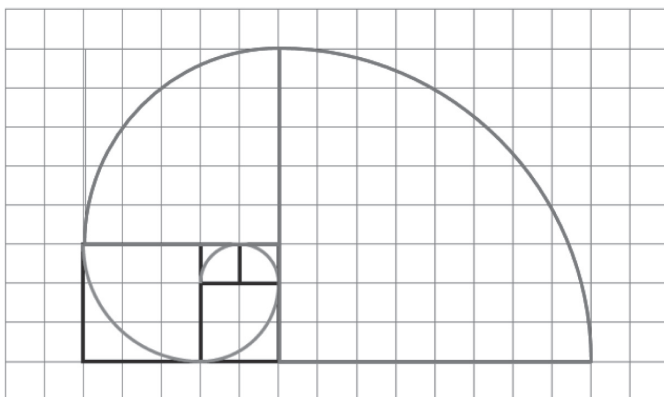


問2



$$1 \times 2 \times 3.14 \div 2 + 2 \times 2 \times 3.14 \div 4 + 3 \times 2 \times 3.14 \div 4 + 5 \times 2 \times 3.14 \div 4 + 8 \times 2 \times 3.14 \div 4 = 31.4$$

答え 31.4cm

$$(1 + 1 + 2 + 3 + 5 + 8) \times 2 \times 3.14 \div 4 = 31.4$$

問3 短い辺 $1030 \div 2 \div 2 = 257.5$ 長い辺 $1456 \div 2 \div 2 = 364$

16分の1 短い辺 257cm 長い辺 364cm

問4 短い辺： $210 \div 297 = 0.7070 \dots \rightarrow$ 約71%，長い辺： $297 \div 420 = 0.7071 \dots \rightarrow$ 約71%，
だから倍率は71%となる。

○推定配点○

① 問3・問4 各20点×2 他 各15点×4

② 問1・問3 各20点×2 他 各12点×5

③ 問1 20点 問2 作図・長さ 各15点×2 他 各25点×2

計300点

<適性検査3解説>

① (社会, 算数, 一票制度と計算)

基本

問1 設問の指示に従って計算をし、そこからわかることをまとめる問題である。

[資料1]：A…16票，B…14票，C…10票 Aが16票で1位になり，アはAとなる。

[資料2]：A… $3 \times 16 + 2 \times 0 + 1 \times 24 = 72$ 票，B… $3 \times 14 + 2 \times 21 + 1 \times 5 = 89$ 票，

C… $3 \times 10 + 2 \times 19 + 1 \times 11 = 88$ 票

Bが89票で1位，Aが72票で最下位となりイにはB，ウにはAが入る。

重要

問2 アメリカの大統領選挙制度をもとにした問題である。各クラスが選んだ意見の合計を出すと，A案は9クラス中5クラス，B案は4クラスとなり，A案に決まる。しかし，クラスの枠を外して，それぞれの案を選んだ個人の人数の合計を計算するとA案が165人，B案が171人となり，B案を選んだ人数の方が多くなってしまふ。このことから生徒全体の意見とは言えない場合があるといえる。

問3 日本の比例代表制の投票方法をもとにした問題である。[資料4]にある指示通り計算をすると，次の表のようになる。よって6年1組は4人となる。